



校長室だより 足立区立第九中学校

第7号 令和3年7月20日発行 佐藤 豊



夏休みは長いテスト勉強期間！

校長 佐藤 豊

中学生にとって、夏休みをどう過ごすかは、心と身体の発達を考える上で、とても大切なことだと思います。

この夏休み、みなさんに期待する心がけとは、自分の心の中でチャイムを鳴らせるかどうかということです。それは、朝起きる時、学習を始める時、友達と遊んで家に帰る時、夜寝る時……自分自身で決めた時間を守りながら生活できるかどうかということです。「自分で自分をコントロールする生活」＝『自律』する生活を望みます。

三年生は進路選択のために上級学校を訪問したり、受験のための勉強をしたりする明確な目標がありますが、一、二年生も家庭や地域の中で、自分の立てた目標を達成できるように努力してほしいと願っています。本校では、夏休みを計画的に学習してもらうために試験範囲を夏休み前に配布しています。また、より充実した家庭学習ができるように学習のポイントも配布しています。ご家庭でも試験範囲の確認をしていただき、この夏休みを長いテスト前期間と考え、主体的に学習する習慣をお子様身に付けさせる機会ととらえ家庭学習の定着にご協力ください。

そのためには、夏休みの計画をしっかりと立て、規則正しく自立的な生活を心がけてください。普段できない勉強、読書、運動や体験学習……等を通して、自分を大きく成長させていってください。

東日本大震災から10年、東北のひまわりが元気よく咲き出しました！

東北のひまわりプロジェクトの意志を受け継いだひまわりの花が咲いたことをお知らせします。東北東日本大震災では多くの方が被災され、また尊い命が失われました。その時に日本や世界中の暖かい人々が義捐金や物資の提供をしてくれました。しかし、それらが被災地のどこへ？誰のもとへ？どう具体的に届いているか追いかけられない現状だったそうです。そこで義援金や物資をいただいた方にお返しとして「ひまわりの種」を渡したことがこのひまわりプロジェクトの始まりだそうです。



ひまわりの花言葉は「私の目はあなたを見えています。貴方の善意や行動は伝わってます、あなたは一人じゃない繋がっています」。この未曾有の困難に負けず太陽に向かって生きていきたいそんな気持ちからもひまわりを選んだそうです。開催間際の東京2020大会の原点は、「復興五輪」です。

東京2020大会の開催が、東日本大震災から立ち直った被災地の姿を世界に示し、世界中から寄せられた支援や友情、励ましへの返礼の意味があるからなのです。そして、今年は東日本大震災から10年。第九中学校では、梅島駅前通り商店街、東武鉄道梅島駅、Lソフィアにも協力をお願いし、店頭や駅構内にひまわりのプランターを設置していただいています。このひまわりはNPO法人チームふくしま福島ひまわり里親プロジェクト事務局の主催する「福島ひまわり里親プロジェクト」の一環で、東日本大震災からの復興のシンボルの意味をもちます。東京2020大会が開催される今年度九中生が地域を「ひまわり」で結び、東日本大震災から立ち直った被災地の姿を世界に示し、今後も、地域コミュニティの活性化および明るい街の景観づくりにも力を尽くしてほしいと思います。



第2回進路説明会を実施いたしました

7月10日(土)1、2校時目に3年生が進路説明会を実施しました。保護者の皆さまには、各教室でZOOMで視聴する形で実施しました。今回の進路説明会の目的は、高等学校の先生方から直接高校生活等の話を聞くことで、進路情報をより確実にし、志望校決定に向けての考え方を明確にすることでした。生徒は真剣に高校の先生の話に耳を傾け、各校の特色、生徒の活動の様子、大学進学の実態などを話していただきました。

租税教育を実施いたしました

3年生の社会科の授業において、東京上野税務署租税教育担当土谷稔様をお迎えし、税金の大切さと必要性を考えることを目的に租税教室を実施しました。

授業内容は国の歳入と歳出の構造と税金の関係について理解できるように分かりやすく解説していただけていました。そして、税金の役割や重要性を理解することでお金を大切に使用することの重要性を説明していただきました。



東京マイ・タイムラインを活用し、災害時の心構えをご家族で話しあってください

今年も梅雨入りとともに雨の日が多くなり、日本全国で水害による大きな被害が発生しています。ニュースでは「線状降水帯による大雨」など毎日のように耳にするようになりました。このような豪雨は東京でもいつ起きてもおかしくないです。

もし、身の回りで大きな水害が発生する危険が高くなった時に、避難など自分の命を守る行動を取れるよう、日頃から考えておかなければならないのです。水害を知り、水害からの避難を考えるためのものとして、「東京マイ・タイムライン」の作成、見直しをお子様とご家族で取り組んでいただきますようお願いいたします。



閉校日期间及び夜間、休日等における緊急連絡先について

1【閉校日の緊急連絡先】

<令和3年8月12日(木)及び令和3年8月13日(金)の2日間>

(1) 緊急連絡先

足立区教育委員会教育指導課(8:30~17:00) 03-3880-5974

(2) 児童・生徒の新型コロナウイルス感染症に関する連絡先

(お子様がPCR検査「陽性」の場合、またはお子様がPCR検査を受ける旨を学校に連絡していないが、閉校日の間に結果が判明する予定の場合)

足立区教育委員会学務課(8:30~17:00) 03-3880-5971

2【夜間、休日等における緊急連絡先】

(1) 行方不明、交通事故、トラブル等による大きな怪我、不審者案件等の発生時

迷わず110番通報をお願いいたします。

(2) お子様がPCR検査「陽性」の場合、またはお子様がPCR検査を受ける旨を

学校に連絡していないが、休みの間に結果が判明する予定の場合

○夜間や休日等、学校に連絡がつかない時は、足立区役所(代表番号)へ連絡。足立区役所から学校関係者へ連絡をとります。足立区役所(代表電話) 03-3880-5111

※ご連絡の際には、学校名、学年、児童・生徒名、保護者名、用件を伝えてください。

● 詳細は、別紙配布プリントを参照ください。

【夏の運動部活動熱中症対策】・体調管理をしっかりして、精神面、技能面の向上を目指そう!

スポーツ時には体(筋肉)が熱を発するため、熱中症の危険がより高まります。気温や湿度が高い中で運動する際には、運動の仕方や水分補給などに注意が必要です。いつも以上に熱中症予防・対策を心がけるようにしましょう。のどが渇いていなくともこまめに水分補給を心がけましょう。大量に汗をかいた時には塩分の補給も必要です。スポーツドリンクには塩分や糖分も含まれていて水分の吸収がスムーズにでき、汗で失われた塩分の補給にもつながります。

まずはバランスのよい食事やしっかりと睡眠をとり、体調管理をすることで、熱中症にかかりにくい丈夫な体づくりと強い精神力を養うように日ごろから鍛錬することが大切です。